Network & Footwork

有限会社メディアハウスエイアンドエス Vol.33

今年もよろしくお願いいたします

今年は大政奉還150周年、来年は明治維新150年を迎えます。関連イベントに力を入れる「維新のふるさと」鹿児島に昨年、仕事で訪れました。その足で立ち寄った市内のかごしま近代文学館では多くの地元ゆかりの作家に触れることができます。そこで出会った作家のことばをいくつか紹介しましょう。

「人間も、芸術も、燃えてこそ人々はそれに引きずられていくのだ」山本実彦

「自らの足もとをただ一心に耕せ。茨の道を歩め。貧しくとも魂に宝石をちりばめよ」杉田久女

「作家として生きて行くかぎりそれは死に至るまでつづく血みどろの戦ひだ」海音寺潮五郎

「私は現在まで、曲がりなりにも一人で歩いて来た。他人の踏みあらした路を、私は絶対に歩かなかった。今から先も一人で歩き続ける他はない」梅崎春生

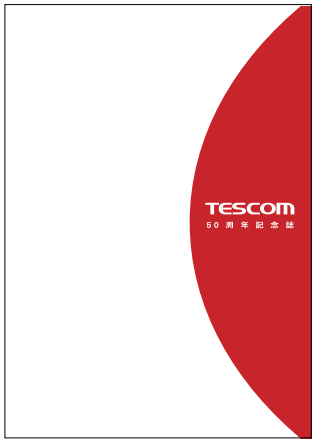
どの言葉からも鹿児島気質を感じ、同時に作家が覚悟の言葉を吐いていた時代に思いが飛びます。ひるがえって、これから始まる新しい年、予想がつかない社会の動きはますます激しいものになるでしょう。作家でなくとも覚悟を持って生き抜いて行く気持ちが必要な時代を、いまふたたび迎えていると思います。

（飯田英明）

■高橋の取材ノートから

◎社史・創業者伝より

○「TESCOM 50周年記念誌」
テスコム電機株式会社様刊行
http://www.tescom-japan.co.jp/



テスコム電機（株）様の創業者楠野幹夫会長は、電気メーカー（理美容・電機・貿易）で10年間勤務後、独立して1965年美容家電を扱う（株）東京電販を東京都渋谷区で創業した。東京オリンピックの翌年のことである。1970年に北米企業からドライヤーの製造委託を受け、OEMメーカーとして大量のヘアドライヤーの開発・生産を手掛けた。米国企業から要求される厳しい品質管理の手法を懸命に取得し、高品質の製品を大量に生産し、会社の基盤を作った。

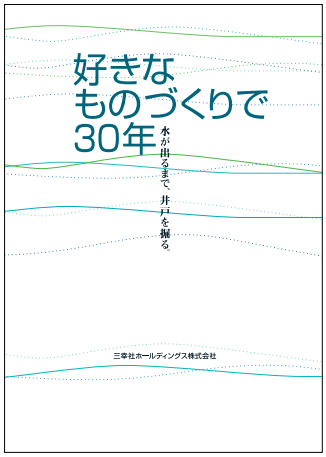
日本では、まだ品質管理という考え方が浸透していなかった時代に、ものづくりには厳しい品質管理が必須であるという経験は、以降同社の強い成長力の原点となっていく。1976年シアーズ・バロック社からシンボルオブエクセレンス賞を受賞した。

変化と競争の厳しい戦後日本の家電業界において、同社は一貫して理美容家電という立ち位置で、消費者が欲しがるであろうという視点に立つ製品開発に注力し、次々に新商品を市場に投入して成長を続けた。

2013年長野県松本市に製造工場を新設し、真空ジュースミキサーなどヒット商品を生み出す。「世界中の女性のキレイをつくる」会社、理美容家電メーカーとして、現在も輸出と国内で躍進を続けている。

2014年同社は50周年記念式典を挙行し、この記念誌A４判カラーを出版した。

○「好きなものづくりで30年
水が出るまで、井戸を掘る」
三幸社ホールディングス株式会社様刊行
http://sankosha-mfg.com



三幸社ホールディングス株式会社の創業者打越満幸会長が41歳の時、1971年クリーニング店経営の経験を活かし、自宅横のガレージを工房に改装して機械開発を始めたのが創業の原点である。機械づくりの経験や知識も少なく、プロに頼む資金も無かったが、打越現会長は創意工夫を重ねていった。

1977年八王子に建てた工場で世の中にないワイシャツ折りたたみ仕上機を開発し、国内展示会で大評判を得て、全国に販売網を構築した。

1988年英国での展示会を皮切りに海外進出をスタートし、1993年米国シカゴに支店を設立し、海外市場開拓に注力した結果、販売は海外が国内を上回る比率となった。

日本で開発生産し、世界で販売するビジネスモデルで成長し、2008年4月創業30周年記念式典を挙行した。その時、『水が出るまで、井戸を掘る　好きなものづくりで30年』（AB判）を刊行し式典で、参加者に配布した。

しかし、同年秋リーマンショックにより、成功していたビジネスモデルからの脱却を迫られ、労使一体となって必死の取り組みを続け、縮小均衡の時代が続いたが、並行してタイ法人と中国企業のOEM契約の二つの海外拠点を設立した。

その結果、「日本で開発し日本とタイ、中国で生産して世界に販売する」新しい仕組みに舵を切った。その後、為替の円安への変動などもあり、業績は順調に推移し好循環のサイクルに入った。

同社は2018年には創業40周年を迎える。特に若い社員が創業精神を学んで欲しいと、今年、上記のAB判を『ハンディなA5判カラー』にタイトルを見直し再編集して刊行した。

高橋明紀代（日本ペンクラブ会員）

有限会社メディアハウスエイアンドエス
〒108-0071
東京都港区白金台3丁目16番10-709号
PHONE （03）3449-0785
FAX （03）3449-0736
m-hmail@nifty.com
http://www.m-h.co.jp/
©tsuppyinny-Fotolia